

ナシ・ブドウの整枝せん定法改善

園芸栽培部

果樹チーム

TEL:022-383-8132

研究の目的

宮城県の果樹栽培は多くの品目で栽培面積の減少が続く中、ナシ、ブドウは横ばいから増加傾向にあり、これらの品目は複合経営の一環を担う存在として期待が高まっています。

ナシでは、高品質日本ナシとして導入が急増している「あきづき」が花芽の着生と維持が困難なことや、ブドウでは、果樹栽培初心者にとって整枝・せん定技術が難しいことが問題となっています。

そこで、本課題では、日本ナシ「あきづき」の整枝法改善による花芽着生安定化技術の開発、ブドウでは、せん定法を簡略化する本県に適した短梢せん定法を開発することを目的としています。

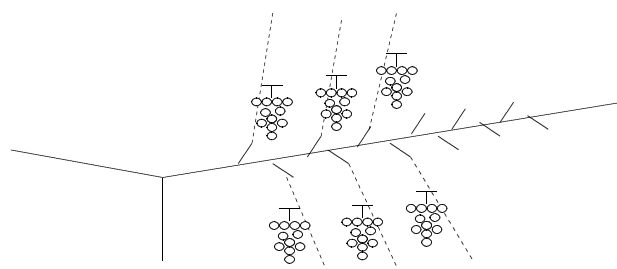
研究成果

高品質日本ナシ「あきづき」の花芽の着生が現在より安定し生産性が向上すると、県内のナシ産地においては、主力品種の収穫・販売期間が切れ間無く継続できるようになります。現在「幸水」、「豊水」、「新高」が代表品種として栽培されていますが、販売上問題となっていた「豊水」と「新高」の収穫の間が1週間から10日程度開いてしまうのに対し、「あきづき」の生産性安定、向上が図られることで解決できます。その結果、ナシ生産者の経営安定とナシ栽培面積の増加が期待されます。

ブドウの短梢せん定法の導入、定着が図られると、樹形が単純でせん定等の理論が比較的簡単であるため、初心者や高齢者でも取り組みやすく、ブドウの生産安定や面積拡大に寄与できると考えられます。さらに、果樹を含めた複合経営の幅が広がる可能性も期待できます。



「あきづき」の改善整枝



短梢せん定の概略図

普及等の見込

当研究所や園芸協会等の様々な研修会、講習会、現地指導会などを通じて普及センター、各自治体、JA等と連携を図りながら、普及を図っていきます。

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)

ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)